

がん化学療法レジメン

レジメン番号:C16-05B1 胃がんトラスツズマブ+SP(HERBIS-1)療法

投与日		投与経路	投与時間
day1	◎ ヘパリンNaロック用シリンジ 10単位/mL (ライン確保用)		
	1 KCL 20mEq+硫酸Mg補正液 20mEq+生食 1000mL	div	120分
	2 パロノセトロン注 0.75mg+デキサメタゾン注 9.9mg	div	30分
	3 トラスツズマブ 8mg/kg+生食 250mL	div	90分
	4 20%マンニトール 300mL	div	60分
	5 シスプラチン(CDDP) 60mg/m ² +生食 500mL	div	120分
	6 生食 1000mL	div	120分

21日間を1コースとして、上記を施行する。

トラスツズマブ:初回のみ 8mg/kgで投与し、以後は 6mg/kgで投与。

1回目の投与でアレルギー症状などの副作用がなければ、

2回目以降は投与時間を30分に短縮可。

初回のみロキソプロフェンをトラスツズマブ投与30分前に内服。

S-1 80-120mg/dayを21日間内服。(day1夕食後-day15朝食後)

S-1の用量は体表面積(m²)により調整。

Rp.6の生食は飲水可能時にOS-1に変更可。

アプレピタントカプセル 125mgをday 1, 80mgをday 2-3に内服。

デキサメタゾン 8mgをday2-4に内服。